

# 高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル 実務者講習会

平成 26 年 7 月 29 日

飛騨高山伝統構法木造建築物研究会  
会長 田村嘉伸

平成 25 年度に作成した高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアルについて、その趣旨と内容を理解していただき、今後の伝統構法木造建築物の耐震化促進を図っていただくことを目的として、以下のように実務者講習会を実施します。

主催：高山市

飛騨高山伝統構法木造建築物研究会

高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル活用検討委員会

## 第 1 回 耐震化マニュアルについて

日時：10 月 18 日(土) 午後 2 時～5 時 00 分

会場：高山市役所 3F 行政委員会室 講師：鈴木祥之、斎藤幸雄、藤井義久

開催挨拶 高山市

1. マニュアルの目的・位置付け等 (20 分)
2. 伝統構法木造建築物の耐震性と耐震補強 (60 分)
3. 耐震性能評価法 (耐震診断法と耐震補強設計法) (60 分)
4. 耐久性調査方法と診断 (40 分)

(持参品) \* マニュアル  
\* 筆記用具・電卓

## 第 2 回 現地調査のポイント解説と構造調査実習

日時：10 月 19 日(日) 午前 9 時 30 分～12 時、午後 1 時～4 時

会場：高山市役所 3F 行政委員会室・宮地家 講師：斎藤幸雄、向坊恭介、研究会

1. 高山町家について (60 分)
2. 耐震調査 (構造詳細調査) 方法 (30 分)
3. 宮地家の耐震調査・耐久性調査のポイント説明 (40 分)
4. グループに分かれ構造調査実習

(持参品) \* マニュアル  
\* マニュアル p 28～3) 準備に記載されている用具・道具・服装

## 第 3 回 宮地家の耐震診断方法の解説

日時：11 月 8 日(土) 午後 2 時～5 時

会場：まちの博物館 講師：向坊恭介、研究会

1. 建築物の重量計算
2. 各方向・各階の設計用復元力算定
3. 耐震性能評価
4. 耐震診断報告書の作成

(マニュアルに基づいて、解説を行う)

(持参品) \* マニュアル  
\* 筆記用具・電卓

## 第4回 宮地家の耐震補強設計の解説と現地確認

日時：11月9日(日) 午前10時～12時、午後1時～4時

会場：宮地家・まちの博物館 講師：向坊恭介、藤井義久、研究会

1. 耐震診断結果の確認及び耐震補強方法の策定(宮地家にて)
2. 宮地家の耐久性調査・対策のポイント説明
3. 補強後の各方向・各階の設計用復元力算定
4. 補強後の重量計算
5. 補強後の耐震性能評価
6. 耐震補強設計報告書の作成
7. 講習会受講の認定書授与

(持参品) \* マニュアル  
\* 筆記用具・電卓  
\* マニュアルp28 3) 準備に記載されている用具・道具・服装

参加資格：高山市内在住の一級・二級・木造建築士の方

将来、伝統構法木造建築物の耐震改修工事に取り組みたいと考えておられる建築職人の方

参加条件：4回すべて参加可能な方

参加費用：無料

教材：高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル各自ダウンロードの上持参のこと  
(9月20日に研究会ホームページにアップロード)

申し込み期限：別紙申し込み用紙に必要事項を記入の上、下記にメール又はFaxにて各自お申し込みください。平成26年10月6日必着でお願いします。参加確定者には、後日連絡いたします。

メールアドレス：denmokuken@yahoo.co.jp

Fax：0577-34-7187

定員：30名程度

食事等：各自でお願いします。

### 講師プロフィール

鈴木祥之先生

1999 京都大学教授

2008 京都大学名誉教授

現、立命館大学グローバルイノベーション機構教授

「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会委員長

斉藤幸雄先生

2000 日建設計構造統括部長

2003 広島国際大学工学部建築学科教授

現 斎藤建築構造研究所所長

「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会設計法部会主査

藤井義久

2007 京都大学農学研究科 准教授

2014 京都大学大学院農学研究科 教授

向坊恭介先生

2008 京都大学次世代開拓ユニット特定研究員

2011 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科助教

2014 立命館大学理工学部助教